あうん・かわら版

20号・2011年2月号

2011年になりまして、もうだいぶ経ってしまいました。

2月に入りいまさらの感じもしますが、皆様、今年もどうぞよろしくお願いします。

初の巻頭言を任され何を書こうか迷ったのですが、悩んだところでたいしたことを思いつけるわけでもない凡人ですから、昨年の4月よりがっぷり関わることになったこの場所あうんについての、私の率直な思いをつらつらと書かせていただくことにします。お楽になさってお読みくださいませ。

私の少ない今までの職務経験からいっても、あうんはかなり変わった場所です。もちろん仕事は手を抜かずに一生懸命させていただきますし、お客様にご納得いただける成果を上げなくてはならないのは他の職場と同じです。では、どこが違うのでしょう？

びっくりするほど違うのは、働く仲間たち同士の欠点を隠しあうのではなく、むしろあけすけにしあって、補完しあう働き方を推奨している点です。得意分野もあるでしょうが、人間だれでも不得意分野というものがあるはずです。その不得意分野が、実務部分にある人ももちろんいますが、それ以外の、日常生活の基礎部分にある人も、コミュニケーション部分にある人もいろいろいると思います。実務部分は経験を積むことで伸びますし、その成長が事業の利益に反映されたことがわかりやすく、周囲からの評価も得やすいです。でも、日常生活のたとえば時間を守れるようになったとか、そういった個人的なことは普通の会社では評価を受けにくいですね。でも、この一つ一つも個人の成長にとどまらず、広い目で見れば、事業の利益に大きくかかわってきます。そういった見えにくく評価を受けにくい部分にも目を向けようとする姿勢のあるあうんは、かなり新鮮でした。働く仲間同士が手柄を取り合う敵になることなく、助け合う同士でありたいとするあうんの姿勢はかなりのカルチャーショックでした。

この姿勢はとても共感しますし、素晴らしいと思っていますが、課題も山積です。足りない部分を補い合う働き方の陰で、過剰な負担が特定の個人にかかっているかもしれないからです。そういった場合、どんなSOS信号を誰に発信すればいいのでしょう？

「個人ではなく、チームで解決する」「仲間を信じあう」などといっても、それにはきちんと働くシステムがなければ、絵にかいた餅になってしまいます。働くメンバーすべてがいきいき働けるような仕組みづくりを、これから皆で考えていけるといいなと思っています。

あうんの内部から、お客様・ご支援くださるかたへ、そしてそこから、あうんの事業を見守ってくださっている地域へ。お互いさまの輪を広げていけるように頑張っていきたいです。　【 山口 】

最近のあうんをお伝えします！

AWN TOPICS

新人紹介 ー茂木 遊さんの巻ー

人の縁とはありがたいもので、にっちもさっちも行かなくなって困っていると、どこかしらから救いの手が差し伸べられてきた。あうんに身を寄せるまでに何度クビを切られてきたか、もはや思い出すのも面倒だが、職場の矛盾をこちらに転嫁されてもなぁ、という思いを幾度か繰り返してきた。曰く、「一番若い君が一番やり直しがきく」と言ってきた NGO、編集部員を 1 年間で 2/3 に減らして毎日 12 時間以上労働の大手出版社、「ここを辞めたら行く場所のない人がいる、君ならどこに行ってもやっていける」は障害者が多く勤める編集プロダクション、etc…。幸いなことに、職を失うたびに友人・知人の好意に助けられてきた。

片や、私の周りには、20 代から 30 代のうちに自殺した者、不審死した者、病院にかかれずに死んだ者が両手を超えるぐらいいる。彼・彼女らの死に至る経緯は様々だし、真相が定かでないものも多いが、こちらには「何故なんだ」という問いと悔いが残される。そんな彼・彼女らと私を分かつものは、恐らくそれほど、ない。「滑り台社会」「希望格差社会」と呼ばれる昨今、クビを切られれば即路頭に迷う方が多い。違いがあるとすれば、私には差し伸べられる手が幸運にもあったということだ。公的なセーフティーネットが破壊されてきたこの 20 数年、頼りになるのは人のつながりだけで、それがないのなら改めて作り出すしかない。

私を生かしてくれている多くの人に私からも手を伸ばしたい。あうんがそんな場であればいいな、と思う 43 歳です。大きな話を駆け足で書いたので、続きはまた今度。見かけたら声をかけてください。よろしくです。

新人紹介 － 田野 新一さん ＆ 愛猫ふみ の巻 －

田野　みなさんはじめまして！　ごあいさつがおそくなってしまったのですが、去年からあうんで働いております、田野新一と申します。31 歳、ちょっと疲れぎみの陰影あるイケメンです☒　とはいえ、学生のころ椎名桔平に似ていると言われつづけた浮かれ酒、飲みつ呑まれた幾星霜、つもるビールは脇腹に諸行無常のたるみ在りな今日このごろは、あの日のように恋される Age,35 を目指して脂肪仕分け推進中！　ちなみに便利屋あうんは肉体労働だけどやせません。共同労働ですから。さて、もう一人の新人、否、新猫、否、真猫、キャット・オブ・ザ・キャッツ、人民の猫・・・

ふみ　にゃー！

田野　あ、ふみ君、お待たせしました。ちょっと待たせたからってそんなに怒らなくてもいいじゃないですか、いま紹介してたのに・・・。え？それで怒ってるんじゃない？　諸行無常とか言ったのが気に入らない？　いやいや平家は三味線じゃなくて琵琶法師ですから、だれもあなた剥いて三味線つくろうなんてしてませんよ。ふむ、しかしこれはあうんで仕事にできそうだな。廃猫の回収リサイクル業。ペットショップあうん。たまに現場にいるし。でも、猫って産廃なのかな？

ふみ　にゃー！

田野　す、すみません。本格的に怒らせてしまった。お詫びのうえ訂正いたします。猫は産廃じゃなくて一般廃棄物・・・

ふみ　にゃー！

田野　いえ、そりゃもちろん廃棄するとしたらの話ですって。僕が君を捨てるわけないじゃないか。君とは毎晩閨をともに・・・その僕が信じられないっていうのかい。
ほら、僕の目を見て・・・

ふみ　にゃー！

田野　気持ち悪いからやめろって・・・、ええい、わかりました（泣）。では気を取りなおして自己紹介いってもらいましょう！　あうんの看板猫、ふみ君（６カ月）です！

ふみ　田野よ（重低音）、もうよさないか。貴下の茶番につきあうのはここまでだ。必要なのは透明性を装った喜劇などではなく、歴史の痕跡を根源的に継承した労働そのものの異化だよ。

田野　！（絶句）。

店舗移転５周年
寒さに負けず、もちつき大会を開催しました。

寒い中、毎年恒例のあうんのもちつきに来て下さった方々ありがとうございました。もちつき大会も３回目となり、お客さんからの評判も上々です。
天気はあまり良くなかったのですが、そんな天気に負けないで盛り上がりました。今年は、近所のお客さんに加えて、生活保護を受けてアパートに入る際、家電・家具をあうんで購入して下さった方も初めてお誘いしてみました。アパートに入るときに限られた予算内で何が必要なのかなどを相談しながら品物を決めていきます。そのため、アパートに入ったその後のことなどお餅を頬張りながら聞いたりして、お互いに楽しみながらお話ができたのではないかな、と思います。
これからイベントを開催するときもまたお誘いして、一度来たお客さんがまた顔を出したくなるようなお店を目指していきたいです。
そして、前回も来て盛り上げてくれたカンカラ三味線の岡さんも駆けつけてくれました。岡さんは毎年山谷の夏祭りで演奏してくれている関係もあり、あうんとは長い付き合いです。最近ではなかなか人気があるようで、東京新聞や毎日新聞に紹介されたり、浅草でライブを行ったりと精力的に活動しています。これからもあうんは岡さんの活躍を応援していきたいと思っています。
　さて、今年のもちつき大会の感想を書いてくれたのは、衣類の店番を担当しているみゆきです。いつも関わるお客さん以外の人たちもたくさん来て盛り上がった様子や感想を書いてもらいました。

２月１２日にもちつき大会を開催しました！！私が参加するのはこれで３回目なのですが、今年もより一層盛り上がったと思います。去年は残念ながら天候に恵まれず、雨の中倉庫の中でもちつきをしたのですが、今年は何とか天気が持ちこたえてくれて、寒かったけど沢山の人が集まりみんなでワイワイと賑やかにもちつきを楽しめて良かったです。

　最初はおじさん達が作ってくれた豚汁を頂いたんですが、野菜たっぷりで寒い中でもすぐに体が温まり、とても美味しかったです。さてさて、本番のもちつきなのですが、もちをこねる人ともちをつく人をかわりばんこに交代でやっていきました。私はやはりあのもちをつく時

にみんなでかける掛け声が賑やかで大好きです！子供から若い人、お年寄りの皆さまが一生懸命ついてくれたおもちは、とても美味しくて五杯もおかわりしてしまいました！！私は甘い物が好きなので全部きな粉と餡子をつけて食べたんですがね（笑）その他にも醤油につけて海苔を巻いたり、納豆をつけて食べたり、沢山のおもちが出来上がりましたが、皆さまおもちを残さずお持ち帰りまでして下さって嬉しかったです♪みんながおもちを食べている間にも岡さんが歌いながら三味線をひいてくれました。特にお金の歌が印象的で面白かったです♪（笑）正直今年はかなり寒かったのであまり人が集まらないかなぁと不安に思っていたのですが、予想以上に常連のお客様や近所の方達や子供達も来てくれて本当に良かったです。今年も大変充実したもちつき大会になりました。これも準備を頑張って下さったあうんのみんなや遊びに来て下さった皆さまのおかげです。
本当にありがとうございました！！

　そして一昨年のもちつき大会に参加してくれていた井上さん。きっと井上さんも今年のもちつき大会を喜んで天国から見ていてくれたと思います。来年もこの調子で人がどんどん増えるといいなと思います。
来年こそは晴れる事を祈ります☆　　【みゆき】

「よいしょ！よいしょ！」と掛け声が響き、
老若男女大勢の方がもちつきを楽しみました。

丸いすの上で唄ってくださった、岡さん。
来年こそは舞台を用意しておきます！

NEWS NEWS NEWS

あうん　みんなのひろば

あうんはたくさんの方に支えていただいて発足より9年目を迎えました。
今回のニュースレターではリサイクルショップあうんを支えてくださっている
地域のお客さまと、家電を売りに来てくれる家電回収業者の方よりコメントを頂きました。

ハマオ川柳

毎日のようにあうんに通ってくれている通称〝ハマオさん〟。常連のお客さんとも、あうんのメンバーとも仲良し。骨董好きのペンキ屋さんで知られています。偶然にも俳句をお披露目してくてたのをきっかけに、是非あうんのかわら版に投稿してもらえないか、と聞いたところ快諾してくれました。これからも仲良くしてくださいね。

デジタル化　お金と頭　回路逃げ

幼子に人権無視の親増える

しみじみと語る君はファンかな

政治とは骨仙だけでまとまらず

掘出しと宝物あるあうんかな

あうんだと呼ばれる人に誠ある

中古家電回収業　月城　興洋

朝布団から出るのが一番辛い季節がやってきました。中古家電の回収で生計を立てている者です。この不況の中で昨年から今年にかけて、四人の同業者が廃業しました。

「あうん」さんとお付き合いをさせて頂き7年の月日が経ちますが、回収した中古家電の中からまだ使える製品を東京で一番高く良心的に買っていただき、大変お世話になっています。『捨てる神あれば拾う神あり』ことわざ通り私達の仕事も少しは世の中に役に立っているのかなと思います。

小さくても自営業なので良くも悪くも自己責任だと自分に言いきかせています。春がくるのを楽しみに、明日も笑顔で明るく軽自動車でラッパをならし、中古家電の回収にはげみます。

リサイクルショップあうんへ

寄付をお願いします。

私たち「リサイクルショップあうん」は野宿者や派遣切りにあった若者などが「使い捨て」ではない労働、生きがいと誇りある働き方を目指し始めた仕事おこしの取り組みです。
ご自宅に眠っている雑貨・食器・衣類がありましたらご寄付ください。

雑貨

※ 御不用なものがございましたら、ぜひご協力をお願いいたします。

●食器（瀬戸物） ※ 箱に入っているもの（引き出物など）のみの受付となります。
単品の食器はご遠慮ください。

●日用品 例：洗剤／ティッシュペーパー／トイレットペーパー／シーツ／カーテン／タオル／タオルケット／等

●その他 小型家電 例：CD コンポ／ハンディクリーナー／電気スタンド／等
おもちゃ／鏡／花瓶／掛け軸／スチールラック／等

衣類

現在
常時受付品目 ＆春夏物
受付中です

傷み・シミ・カビなど
状態の悪いものは
受け取ることができません！
※秋冬物はご遠慮ください！

常時受付品目

■ 男性用・女性用・子供用 共通

長袖ポロシャツ ／ 長袖 T シャツ ／ 長袖カジュアルシャツ ／
ジャンバー ／ パンツ／カジュアルジャケット（背広不可）／
作業着（新品に近い状態のもの）

■ 和服

着物 ／ 帯 ／ 浴衣 ／ 和装小物（草履・帯揚・バック 他）

■その他

バック／ 靴 ／ 帽子 ／ エプロン ／ 靴下 ／ ベルト／パジャマ ／
スカーフ ／下着（男女）／ 財布 ／ ハンカチ ／タオル ／
アクセサリー

※ 靴下・下着・ハンカチ・タオルは新品に限りますのでご注意ください

春夏物

半袖 T シャツ／
サマーセーター／
夏用ジャケット・
パンツ（綿・麻 素材など）
他

✕ 受付不可

傷み・汚れのひどいもの／
背広／白いワイシャツ／キュロット
ガウン／スキーウェア／水着／
制服／事務服／柔道着／ドレス／
布団

20号・2011年2月発行
発行元：企業組合あうん 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 1-36-10
TEL：03-5604-0873 FAX：03-6458-3907
E-MAIL：awn0873@nifty.com / HP：http://www.awn-net.com/

※同封の振込用紙は企業組合あうんの非営利部門にて使用させていただきます。